

おひさまぴよぴよ Q & A

- Q1** 雨の日もやっているの？
天候不良の際はHPの「中止のお知らせ」で開催の有無をお知らせしています。
- Q2** 帰る時間は自由なの？
はい。来る時間も帰る時間も自由です。お子さんとご家庭の都合を優先してくださいね。小さい子は午前中になつぷりあそぶとスムーズに帰れますよ。
- Q3** 何をもっていけばいいの？
お着替え、濡れたり汚れた服を入れるビニール袋、タオル、飲み物、お昼ごはん、昼食用シート、天気の良い日は帽子もね。おもちゃは持ってこなくてもあそべますよ。
- Q4** 0歳はどんなことをしてあそんでいるの？
赤ちゃんは五感をほどよく刺激してくれる外あそび。お部屋にはない空や風、木漏れ日、誰かの声。他の子のあそんでいる様子も真剣に見つめていますよ。

都立大泉中央公園

大泉学園町9-4-3
毎週**火**曜日 9:30~13:30



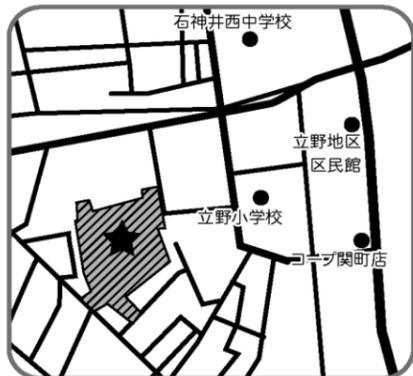
練馬区立井頭の森緑地

東大泉7-26-8
毎週**水**曜日 9:30~13:30



練馬区立立野公園

立野町32-1
毎週**水**曜日 9:30~13:30



練馬区立中村かしわ公園

中村1-17-1
毎週**木**曜日 9:30~13:30



都立光が丘公園

光が丘4-1-1
毎週**木・金**曜日 9:30~13:30



都立石神井公園

石神井台1-26-1
毎週**金**曜日 9:30~13:30



練馬区立豊玉公園

豊玉北6-8-3
毎週**火**曜日 9:30~13:30



おひさまぴよ通信



練馬区外遊び型
子育てのひろば事業
2022年 vol.22



『おひさまぴよぴよ』は、0歳~3歳のお子さんと保護者の方が自由にのびのびと、たのしく外あそびができるひろばです。区内7ヶ所の公園で9:30~13:30に開催しています。開催時間内は出入り自由なので、気軽に遊びに来てください。各公園の開催曜日は、裏面をみてね。

子どもたちに「ああ~楽しかったあ！」の毎日を♪

子どもたちには「ああ~楽しかったあ！」と思える毎日をご希望しています。そのために『おひさまぴよぴよ』では、子どもたちが、今やりたいことを思い切り、満足するまでできるようにあそびの環境を作っています。

どんなことが好き？どんなことがたのしいかな？
おもしろいって思うのはどんなあそびかな？

心身ともに大きく成長する子どもたち。
新しい出会いを、たのしみにしています♪

幼児期には、 実体験を伴うあそびを♪

子どもたちが、外に行きたがるのはなぜでしょう。

戸外には、木漏れ日、空気の流れ、虫の羽音、雨上がりのにおいなど、五感に響く刺激が溢れているからでしょうか。土は水を混ぜるとドロドロになる、指先で草や花の実をつぶすと色が染み出るなど、こちらの働きかけに変化する自然が探求心をくすぐるからでしょうか。

幼児期に最も大切なことは、「自分の身体を使った実体験を伴うあそび」といわれています。

触る、嗅ぐ、押す、引っ張る、バランスをとるなど様々な感覚を駆使して、自分の身体をコントロールできるようになることが発達の土台です。その土台の上に話を聴く力、書く力、読む力など知の学習が積み重なります。



順番が逆だと、土台が不安定なので積み重なっていきません。まずは、乳幼児期に自分のやりたいことを自分の身体を使ってしっかりとあそぶことをおすすめします。

平坦な道よりも、起伏のある土の上を歩いたり、手や足を使って進む草地の方が、しなやかな身体を作ります。そこに生き物がいたり、木の実が落ちていれば、立ったりしゃがんだり、指先を使ってそっとつまんだり。お友達がいたら、協力して雑草を力いっぱい引っっこ抜いたり。子どもたちは自由にあそべる豊かな環境さえあれば、その中で発達に必要な身体を使ったあそびをしているのです。

つまり、「たのしくあそべばこどもはそだつ」です！練馬区には、思い切りあそべる公園や緑地があります。ぜひ、自然の中でたっぷりのあそび時間を！

大切なお知らせ

新型コロナウイルス対策を実施しながら開催をしています。

体調が悪い人や家族に感染の疑いがある人は参加できません。大人の方はマスクを着用してください。遊ぶ前に、受付で手と指の消毒をお願いします。詳細につきましてはHPの「お知らせ」をご確認ください。今後、開催状況について変更が生じる可能性もあります。ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

発行 / NPO法人PLAYTANK (プレイタンク)

住所 練馬区旭町 1-16-1
電話 03-3976-3113 (月~金 9:30~16:00)
MAIL contactus@playtank.tokyo
WEB <https://playtank.tokyo>
I G ohisama.piyopiyo



夏休み期間について 2022年 7月26日(火)~8月31日(水)は、開催がありません。9月1日(木)から再開します。

子どもたちが「たのしくあそんで育つこと」を大切にしています。

「おひさまぴよぴよ」って、どんなところ？

POINT 1

おひよスタッフがみんなを迎えます

初めて来た方は受付にきてね。
スタッフが声をかけるよ。
なんでも聞いてね～！



POINT 2

あそび道具の用意があります

バケツ、シャベル、ジョウロ・・・
いろんなあそびが展開できるように道具があるよ。
自然素材もあそび道具になるよ～！



POINT 3

みんなで使う大きなシートがあります

貴重品以外の荷物はここに置いてね。
他の家族と離れていれば食事もOK。



POINT 4

お砂場着、帽子、長靴の貸し出しがあります

初めてあそびに来たから何も準備がなかった！
そんなときはスタッフに声をかけてね。
(数に限りがあります)



おひよの一日

あつまれ2・3歳！

9:30

おひよスタッフが道具を出すよ。
みんなもお手伝いよろしくね～



好きなことを
してあそびます



11:30 ごろ

おながすいたら自由にお昼ごはん。
お弁当を持ってきて、近くで買ってきても。
ごはんの後は、お昼寝してもいいし、
また、あそんでもいいんだよ。

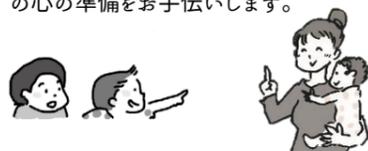
感染症対策中。
家族ごとに離れて食べてね。

受付でシートを
貸し出しています。



13:00 すぎ

「またねの会」で手あそび&歌あそびをしましょ♪
「おしまい」の心の準備をお手伝いします。



13:30

今日のおひよはおしまい。
あそんだ道具をお片付けて、さあ、おうちに帰ろう。

午前中にたっぷりあそぶと、
生活リズムが整いやすいよ。
おひよの時間を
うまく使ってもらえたら嬉しいです。



場所：各「おひさまぴよぴよ」
期間：9月からスタート！
時間：10:15～10:45
対象：2歳～3歳児

みんなで集まって体操したり
いろんなあそびテーマを企画しているよ。

9月：シャボン玉であそぼう！

幼稚園に向けて、お友達と関わったり
朝早く家を出る練習になればと思い、
企画をスタートすることにしました！

参加証のシールカードも作りましたよ！
全部集めて「おひよステッカー」を
ゲットしよう！

無理せず、たのしく！

暑い日に外であそぶポイント！



うちわで「仰ぐ」！
蚊が近づけ
ないんだよ～

肌を隠そう！
体力を消費せず、蚊や日焼けから
守ってくれます。薄くて風を通す
素材がオススメ。

木陰&土の上

アスファルト上が高温でも
木立の中なら10度以上温度が
低いこともあります。



こまめな水分補給と
日陰で定期的に休憩が大切。
いつもと違う様子はないかな？
頬がほてっていないかな？

帽子！

濡らしてかぶると気持ちいいよ。
かぶりたくない子は、日差しをさけて
頭をときどき水で濡らしてあげてね。

帽子をかぶりたがらないときには、
頭に霧吹きでシュッシュュッ！っと
水をかけてあげるのもいいよ。

首を守ろう！

首の後ろを守るカバー付き帽子
は便利。濡らした手ぬぐいを
巻いてあげるだけでも体温の
上昇が抑えられますよ。

水に触れるあそびを！

濡れた肌が乾くとき気化熱として
身体の熱が逃げていくよ。暑い日
の水あそびは理にかなっているね。

赤ちゃんたち

木陰で過ごしましょう。汗をかいたら
お着替え～♪濡らした手ぬぐいやタオルで
身体を拭いて体温調節のサポートを。
帰る前には、ささっと行水もいいよ。

遊ぶ、育つ、生きる力

根っコラム

カブトムシの赤ちゃんとの出会い

カブトムシの幼虫に出会ったときの子どもたちの
様子を紹介します。

生き物との出会いは、子どもたちの感情を豊かに
引き出してくれます。

じっと、幼虫を見つめたまま、かすかに指先が動
いている子。大人の背後に隠れながらも、幼虫の
動きをじっと見ている子。

意識が幼虫に向いています。本当は近くで見てみた
い気持ちや、触れてみたい気持ちがあるのでしょう。

スタッフが子どもたちに話しかけてみます。
「まだ、あかちゃんなんだよ。」
「ここは口だね。ここはおしりかな。」
「眠いのかな？」「自分で土にもぐれるんだねえ。」

そんなふうにながら、みんなで見ているうちに、
子どもたちの興味や好奇心が刺激されて、自ら手を

伸ばしてきます。

スタッフは「そっとさわってみてね」「触り方は、こうだ
よ」と、その子自身に触れて、どのくらいの力の加減なの
かを伝えます。

とってもやさしい手つきで、幼虫に触れた2歳の子。
しばらく観察して、手を離れた時に「ふう～・・・」と肩が
動くほどの息を吐き出していました。

ドキドキしていたもね。でも、触れた！なんと晴れやかな
表情をしていました。

子どもたちが自分のタイミングで触ることが可能な小さな
生き物たちとの大切な出会い。

虫が苦手な子もいたはずが、カブトムシの幼虫は、ずっと
子どもたちに囲まれていました(笑)

大きくなったカブトムシに出会ったら、みんなどんな反応を
するのかなあ。また、出会えるといいね♪